

困窮者支援に、いまなにが必要か？

—制度開始1年が近づき、何が見えてきたかを考える—

平成27年度社会福祉振興助成

「困窮者の多様さに対応可能な資源の開発事業」 中間報告会

[ゲスト報告者]

- ◆ ふーどばんく OSAKA
- ◆ 東成区自立支援相談窓口
- ◆ 暮らしサポートセンター守口

[事業報告者]

- ◇ 大阪希望館
- ◇ 困窮者総合相談支援室 Hippo.
- ◇ 支縁のまち羽曳野希望館

[日時]

2016年

2月13日(土)

18時～20時半

[場所]

豊崎東会館

(大阪市北区長柄西1丁目 1-39
地下鉄「天神橋筋六丁目」2番出口を
北へ5分。旧おおよど自立センター南側)

[入場料無料です]

「困窮者の多様さに対応可能な資源の開発事業」

本事業は、大阪市北区、大阪市西成区と羽曳野市で、主催共催4団体が、それぞれの主たる支援対象にしている人たちに適したシェルターを連携して設置しながら、各地域でネットワークを作ってつなげていこうという事業です。大阪希望館では主に若年ホームレスや不安定就労者、“ひぼ”では主に単身高齢や障がい・疾病を持つ野宿生活者や生活保護受給者、羽曳野では主に家族やDV被害者を、本事業での主なシェルター利用対象者にしています。

また大阪希望館で、「住まいを失くした人、失くしそうな人」の電話相談・メール相談もおこなっています。

生活困窮者支援制度が本格的に動き出して、もうすぐ1年になります。

はたしてどこまで有効に機能しているのでしょうか。

本報告会では、大阪市内府内で生活困窮者の相談窓口を担っているみなさんや、地域等で困窮者支援をおこなっているみなさんと一緒に、支援活動をとおして何が見えてきたのか、どういう事業や資源は有効に活用でき、何が足りないのか、どういう資源とネットワークが必要なのかを考えていきます。

[主催] 一般社団法人 大阪希望館

[共催] ・(一社)困窮者総合相談支援室 Hippo. (ひぼ)

- ・(一社)支縁のまち羽曳野希望館
- ・大淀寮 OB 会事務局

[後援] 大阪希望館運営協議会

(連絡先) TEL06-6358-0705 (大阪希望館・沖野)

Email: kiboukan@kiboukan.or.jp

〒531-0041 大阪市北区天神橋 7-13-15 大阪希望館